

2025（令和7）年度事業報告

I 概況について

2025（令和7）年度は、①アマチュア局に係る無線設備の技術基準の適合証明・工事設計認証、②アマチュア局の保証業務、③集合講習又はeラーニングによるアマチュア無線技士の養成、並びに④電波利用秩序の維持への協力の各事業について継続して実施したほか、アマチュア無線の利用拡大に資するビギナー向けの交信セミナー等の実施、青少年に対する受講料の減額措置の継続や受講者交流サイトの運用を通じ、アマチュア無線の振興に貢献した。

なお、各事業における実績では、アマチュア局保証、養成課程について、いずれも減少傾向が継続しており、厳しい事業運営となっている。

II 法人運営について

1 役員体制

6月26日に開催された定時評議員会において、評議員の変更及び任期満了に伴う役員の選任が行われた。評議員は1名の変更、役員は理事6名・監事2名の再任のほか、新たに理事が4名選任された。

この承認を受け、後に開催された第40回理事会において、種村一郎理事が会長（代表理事）に、夏賀邦明理事が専務理事（業務執行理事）に選定され就任した。顧問には三木哲也氏が就任されている。

2 一般法人への移行関係

2024年度の公益目的支出計画実施報告書を6月26日付けで内閣総理大臣あて提出した。

3 事務局体制

2026年3月末現在の職員の配置は、次のとおりである。非公表

4 規程類の改正について

(1) 2025年12月22日付にて、以下の規程類を改正している。

☐就業規則 ☐職員旅費規程 ☐職制規程

5 評議員会及び理事会

(1) 会議の開催状況

理事会（書面開催を含め）を4回、定時評議員会を1回開催した。

Ⅲ 事業概要について

1 技術基準適合証明・工事設計認証

- (1) 取扱件数 非公表
- (2) 登録証明機関の更新申請の準備
5年に1度登録の更新手続きを行う必要があり、その準備を行った。
- (3) 証明員の選任
2026年2月に新たに証明員1名を選任し、届出を行った。
- (4) 測定器等の有効利用の取扱件数
 - ① 無線機器の電波測定サービスは2件の申込みがあった。
 - ② 測定器室の開放（一般利用サービス）は30件の申込みがあった。

2 アマチュア局保証

- (1) 取扱件数 非公表
- (2) 利用状況
 - ① 基本保証
開設は依然として減少傾向にある。
 - ② スプリアス確認保証
2021年8月、新スプリアス規格への移行措置の期限が「当分の間」に延長された以降は、取扱件数が著しく減少している。

3 養成課程（第四級・三級集合講習）

- (1) 受講者数 非公表
- (2) 受講状況
 - ① 全体
今期も受講者数の減少が続いており、アマチュア局数の減少に伴うアマチュア無線界全体の低迷が影響しているものと考えられる。
これまで現地の事務代行機関による講習会の企画・開催に加え、JARDが各地で企画・開催する直営方式を増やす方向で動いている。
 - ② 青少年の受講
4アマ養成課程の減額措置を継続している。
今期は8月と3月に「親子ハム教室（ファミリーコース）」を2回開催した。
- (3) 業務実施上の特記事項
 - ① 2025年10月1日付で無線局免許状がデジタル化されるなどの電波法の一部改正が行われた。これは無線局免許状のペーパーでの発給を廃止し、免許状等の内容をインターネット上で閲覧できる仕組みが新たに導入されたものである。
この改正に伴い、標準教科書や修了試験問題等の見直しを行うため

養成課程審査委員会を開催し、その対応を行っている。

- ② 集合講習会の開催が少ないエリアからの受講照会に対しては、3アマeラーニングを推奨し、積極的に誘導することとしている。

4 養成課程（第二級・三級eラーニング）

(1) 受講者数 非公表

(2) 受講状況

① 第二級アマチュア無線技士

受講者の確保が厳しい状況となっている。

② 第三級アマチュア無線技士

受講者の確保が厳しい状況となっている。

(3) 業務実施上の特記事項

- ① 10月1日付の電波法の一部改正に伴い、eラーニングで使用する電子教科書について改訂を行っている。

また、eラーニング開始当初より受講申込者に対し無償で提供している製本された標準教科書についても正誤表を付加して提供を継続しているが、コストの面からもこの継続について、廃止を含め今後検討することとしている

- ② 今期の2アマのハイブリッド形式及び集合形式での講習会の開催については、開催を見送っている。

5 電波利用秩序維持への協力等

(1) アマチュア無線の適正利用に関する周知広報

4アマの受講者全員に対し、JARL作成「スタートハムライフ」の冊子を配付しているほか、ビギナー向けのセミナーや初心者交信教室の中で適正運用についての周知等を行っている。

(2) 各種イベント等への出展対応

2025年度の情報通信月間行事として登録した「アマチュア無線入門講座（ビギナー向けのセミナー及び交信教室）」又は「アマチュア無線初心者交信セミナー」を、5月に東京巣鴨及び横浜本牧にて、6月に大阪市及び岡山市にて、7月に新潟県三条市にて開催した。

また、今期は、各地で開催された以下の大規模イベントに出展し、各業務相談の対応のほか、PR等を行っている。

(3) 受講者支援（事後フォロー）

- ① 受講者交流サイト「HAM t t e」の運用
- ② HAM t t e 交信パーティーの開催
- ③ 初心者交信教室等の開催

(4) J O T A (ジャンボリー・オン・ジ・エア) 体験会への協力

10月18日、19日の両日に、(一社)日本ボーイスカウト東京連盟主催のアマチュア無線の体験会イベント「J O T A 2 0 2 5 体験会」に対し、協力を行った。このイベントでは、J A R D ハム教室及び J A R D クラブ局の無線機等の設備を提供するなどの協力を行っている。J A R D では青少年へのアマチュア無線技士の資格取得 P R の場として、今後も協力することとしている。

(5) A R D F 大会への支援

7月に新潟県阿賀野市で開催された「第20回全国高等学校 A R D F 競技大会」に対し、選手が着用するゼッケンを提供するなどの支援を行ったほか、10月には福井県丹生郡越前町で開催された「2025全日本 A R D F 競技大会」では、中学校・高等学校対抗部門に「J A R D 賞」を設け、成績優秀校を表彰している。

6 その他

(1) 新たな事業の検討

(2) 一般財団法人日本 U A S 産業振興協議会 (J U I D A) ※との連携

① 2019年12月から J U I D A が監修する「ドローン専用飛行支援地図サービスサイト・S O R A P A S S」の会員を対象にアマチュア局の開設支援を実施している。

② 2025年6月に幕張メッセにて開催された J U I D A 主催イベント「J a p a n D r o n e 2 0 2 5 / 次世代エアモビリティ E X P O 2 0 2 4」にブース出展し、ドローン F P V 利用のためのアマチュア無線資格の取得方法やアマチュア局の開設手続き等を P R した。

※ J U I D A は、日本の U A S (無人航空機システム) 産業の振興と健全な発展を目指し、2014年7月に設立された団体

(3) F M ぱるるん (M I T O ・ 7 6 . 2 M H z) との連携

F M ぱるるん「O M のラウンド Q S O」(毎週日曜 21 時 30 分から放送)の番組内に、約 10 分程度、常設の J A R D コーナーが設けられ毎週業務等の P R のため、J A R D 役職員等に対応している。